

公表:令和 5年 2月 15日

事業所名 児童発達支援事業所 ぐろうさぽーと天満

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			密にならないよう3つのブースに分かれて活動を行っている	
	②	職員の配置数は適切であるか	7			配置基準は守っている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3		限られたスペースの中で視覚支援を行ったり、身支度やトイレ前スペース等を専用スペースにし、環境整備を行っている	その日の利用者の様子により更に細やかな対応が出来るスペースを確保する等の工夫が出来る環境を作っていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1		毎日朝夕の清掃、一日1回以上の消毒で、空間を清潔に保ちつつ、こまめに整理整頓するよう心掛けている	気になる所は気付いた者が自ら行動し、環境を整えることが出来る職場づくりを目指す
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2			職員全員が意識できるよう、参加できない職員にも分かるように事務所内に掲示場所を設け対応する
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				職員間で情報共有し、保護者のニーズに沿えるよう体制を整えていく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		毎年ホームページに掲載している	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			事業所内研修の実施、外部研修への参加をしている	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			保護者とこまめに連携し、利用者の日々の様子から支援計画を作成している	
	⑩	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			各自で必ず個別支援計画を確認していくようにしている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		中心になるメンバーで行っている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		曜日により活動を固定することなくランダムになるよう組み、内容も4学期制にして更新している	
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			日々の様子をしっかりと話し合い、個別の活動と集団の活動を組み合わせている	
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2			時間差で出勤する職員も分かるよう申し送りの徹底を図る

	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	1		送迎や退社時間などの理由で打ち合わせの機会が持ちにくい、時間を見て情報共有し、居ない職員には後日申し送りをしている
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2			記録はしているが、全員が記録を元に振り返りは出来ていないため、一人一人が意識し、皆で振り返る時間を設定する
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			利用者の日々の様子を基にし、また、保護者の方の思いも聞きながら、定期的に見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3		コロナ禍でサービス担当者会議も開催されにくい状況のため、紙面でのやり取りで対応している	
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	4	1		今のところ該当利用者が居ないが、必要な場合には連携を図っていきます
	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	4	1		今のところ該当利用者が居ないが、必要な場合には連携を図っていきます
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	5	1		保護者の方からの要望により、必要に応じて対応している
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		療育センターの研修に参加している	
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	3		特に考えてはいないが、必要に応じて検討していく
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			常に連絡ノートや送迎時、個別相談の機会を作り、情報共有している	

保護者への説明責任等	②⑤	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		連絡ノートを活用している	今後も個別の相談にも迅速に対応し、療育につなげていく
	②⑥	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		茶話会を開催している	
	②⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7				
	②⑧	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2			
非常時等の対応	②⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		1	契約時に保護者に配布し、定期的に訓練も行っている	
	③⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に訓練の実施をしている	
	③⑪	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	1		保護者の方からの既往歴や服薬等の情報を聞き、確認している	
	③⑫	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	4	2	1		今のところ対象利用者はいませんが、必要に応じて対応します
	③⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			ヒヤリハットのファイルで情報共有できるようにしている	
	③⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			社内研修を行っている	
③⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			個別支援計画に記載し、保護者の方に説明をしている		

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。